



3月9日 本会議場の様子

【写真提供：府中NEWS速報】

2月28日から3月18日にかけて、令和2年第1回（3月）定例会を開きました。

新型コロナウイルス感染症の状況もあり、市の対策本部が設置された場合の議会対応について難しい判断を迫られました。定例会中の3月6日、11日に議会運営委員会を開き、感染拡大防止のための傍聴の自粛要請について全会一致で決定いたしました。

その内容につきましては様々なご意見をいただきましたが、市民の皆様のご理解・ご協力をいただき、市民の代表として市の当初予算をしっかりと議論することができました。

新型コロナウイルス感染症の議会対応につきましては、今後の状況を注視しながら議会運営委員会で決定し、最新の情報を市のホームページ等でお知らせしてまいります。

今後とも、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 3月議会

# 令和2年度府中市一般会計予算可決!

3月定例議会は、2月28日から3月18日までの20日間開き、議案36件、発議3件、報告2件、意見書案3件を審議、議決しました。

### 主 な 議 案

- ・ **令和2年度府中市一般会計予算について**（歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ222億5,000万円と定める） **原案可決**
- ・ **令和元年度府中市一般会計補正予算(第4号)について**（校内無線LANを整備し、学習用PC端末を導入するため予算として歳入歳出それぞれ3億6,618万3千円を追加し222億4,741万4千円とする） **原案可決**
- ・ **令和元年度府中市一般会計補正予算(第5号)について**（歳入歳出それぞれ5億2,767万9千円を減額し、217億1,973万5千円とする） **原案可決**
- ・ **地方独立行政法人府中市病院機構第3期中期計画を認可することについて**（中期計画の期間を令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間とし、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に努める） **原案可決**

### 議 員 発 議

- ・ **3件**（議会改革特別委員会において議論を行った事項についての条例改正） ※詳細は後述の「議員発議」に掲載 **原案可決**

### 議 員 提 出 意 見 書 案

- ・ **中高年のひきこもりに対する実効性のある支援と対策を求める意見書の提出について** **原案可決**
- ・ **子どもの医療費助成制度の拡充を求める意見書の提出について** **原案可決**
- ・ **新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書の提出について** **原案可決**

# 一般質問

## Q & A

3月4日、5日 13人の議員が  
市政を問う！



市民クラブ  
土井 基司

### 伐採が進む山林の保全

**Q** 地球温暖化に伴う豪雨による土砂災害が各地で頻発し、山林保全の重要性が高まっている。一方で成長戦略のもと、伐採が進行することが予想される。上下町では伐開されたままに見える山林が目立ってきている。対応を伺う。

**A** 森林法に基づく伐開届がこの3年で126件に増えている。指摘の山林は、造林ではなく、「天然更新」として届けられ、5年後の状況報告が所有者に義務付けられている。植林等への補助制度はない。



市民クラブ  
芝内 則明

### 府中市地域防災計画

**Q** 避難所の利用は、対象者の何割を想定しているのか。また、1人当たりの面積を伺う。

**A** 避難所の収容人数は、1人当たりを2平方メートルとして10カ所の避難場所を合計すると約6900人となる。人口3万9000人として、全員避難したと仮定した時は、約18%の収容が可能となる。市が追加開設する6カ所を入れると約1万5000人、約27%の収容が可能である。



市民クラブ  
水田 豊

### (独法)地方独立行政法人府中市病院機構への市の繰出基準

**Q** 地方独立行政法人への市からの補助金の繰出額が、当初3億円、府中市民病院の建てかえ後には4億円となり、

今回4億7300万円に増えている。事実上、支援増額への方針転換ではないか。

**A** 総務省の繰出基準に基づき計算している。建設改良及び企業債元利償還のおおむね2分の1と、各項目に交付税算定基準を準用している。基本的な考え方は変えていない。



創生会  
三藤 剛

### 地方共生社会の実現

**Q** 地域づくりメニューを町内会の課題解決型メニューとし、町内会に対する各種助成金を見直し、例えば各町内会に一律10万円の助成金を出してはどうか。

**A** それぞれの地域において、それぞれの方法や関係で、互いにケアし、支え合うことができるコミュニティづくりをサポートする手段の一つとして、柔軟で包括的な助成金の仕組みについて、具体的な検討を始めたい。



創生会  
田邊 穂

### B&G市民プールの建てかえ

**Q** B&G市民プールの建てかえの計画はあるのか。

**A** 開設から40年以上経過し老朽化が進んでいる。消防法の規定で50年経過した地下オイルタンクは腐食の恐れが高いことから対策が必要となる。タンクの交換となれば経費が高くなり、その間に施設の利用ができなくなる。このことから2028年までには、プールの建てかえを行う必要がある。建てかえの場所、機能や市の財源の見直し等を含め来年度の早い時期に検討していきたい。



創生会  
山口 康治

### マラソン大会

**Q** 新たなマラソン大会の具体的な内容について伺う。

**A** 多くの市民からマラソン大会の復活を望む声がある。平成30年度の「志の教育推進事業」の際には中学生より「府中市の企業や歴史ある場所をPRするため、市内企業をめぐるマラソン大会を開催する」という提案もあった。今後は、具体的なコース設定や大会の魅力・特徴など議論を深め、11月頃には全国でもあまり例のない市内中心部のコースを設定しようと考えている。



創生会  
広瀬 和彦

### 今後のICTへの取り組み

**Q** 来期、ICTに関わる事業計画がされており各分野でシステム対応を行う必要があると思うが、現在の人員・人材で実施可能か。

**A** 今後ネットワーク構築や新たなシステムの導入、変更など専門性の高い分野の対応が必要となる。現在総務省の事業として「地域おこし企業人交流プログラム」などの活用を検討している。こうしたプログラムを活用などを含め人員の確保に努める。



創生会  
加納 孝彦

### クリーンセンター

**Q** クリーンセンターの建てかえについては、議会としても広域処理の方向性で提言を行っている。広域・単独処理の意見もある中で市長に伺う。

**A** 一般廃棄物の処理は、将来の社会状況を考慮した適正規模で広域的な施設整備が必要と考える。広域処理により焼却施設を集約して大型化することで、経費抑制を図るだけでなく、温室効果ガスなどの環境負荷の低減にもつながり、地球温暖化防止にも寄与すると考えている。



創生会  
ほんたにひろゆき  
本谷 宏行

## 大学誘致の取り組み

Q 今後の取り組みを伺う。

A 誘致する道筋の一つとして、「ドローンのまち府中」として盛り上げていくことが必要であり、「飛ばす環境づくり」「学ぶ環境づくり」「拠点づくり」の3つを柱に取り組んでいこうと考えている。戦略を検討・研究する専門家と交えた協議の場を設ける予定で、令和2年度予算にその経費を盛り込んだ。拠点化や実証実験を進め、その戦略を検討する中で将来的に高等教育機関誘致につながると考えている。



日本共産党  
ならざきまさみち  
榑崎 征途

## ハザードマップの活用

Q ハザードマップに示された危険区域の対策はどのように進めていくのか伺う。

A 対策となるハード整備には、時間もお金もかかるが、砂防工事、急傾斜地崩壊防止対策事業により順次対策を進めたい。また、土砂災害特別警戒区域に指定された住宅について、既存住宅の除去費用や移転先の建築費の一部を助成する「府中市がけ地近接等危険住宅移転事業」を創設して移転の支援も行っていく。



日本共産党  
おかだたかゆき  
岡田 隆行

## 市水道の「一時休止要望」に対する対応

Q 昨年の6月議会でも質問したが、市水道の一時休止に伴う対応の誤りをどのように教訓化しているのか。また今後どのように改善していくのか。

A 現段階では「いつまでに」と断言まではできないが、制度設計を速やかに進めていきたい。一時休止については様々なケースでご相談をいただいている。相談される方によって対応が違うことのないようにしていきたい。



公明党  
かしまひろのぶ  
加島 広宣

## 防災対策

Q 頻発する自然災害から市民の命を守るために、防災リーダーなどの活用は欠かせない。地域での連携や「いつ、どのように行動するか」を事前に決めておくマイタイムラインの作成と市内への災害対応型自動販売機の設置、地震ブレイカー設置補助や防災無線の戸別受信機の導入などの考えを伺う。

A 防災リーダーの地域連携や市民の防災意識の向上を図る取り組みを行い、危機管理の中で参考にして検討をしたい。



公明党  
おほもとちかこ  
大本千香子

## 成年後見人制度の活用促進

Q 認知症や知的・精神障がい等で判断能力が不十分な方は、必要なサービスの契約が困難で、財産相続等の協議ができなく、悪徳商法の被害者になるなど本人の不利益となることがある。そのため成年後見人制度があり、2017年には成年後見人制度利用促進法も制定された。府中市の利用促進の取り組みを伺う。

A 社会福祉協議会のせせらぎ事業等、関係機関と連携しつつ必要な方がこの制度を利用できるように取り組んでいきたい。

## 予算総括 Q&A

創生会 丸山 茂美

Q 合併以降2番目の大規模予算として、自主財源が

少ない中、予算編成に苦慮されたと思うが、新年度予算にかけられた市長の考えを伺う。

A 平成30年7月豪雨災害からの復旧復興に引き続き

創生会 安友 正章

Q 当初予算のうち、自主財源が33%の約74億円、このうち市税は約52億円。こうした予算の中、安定的で継続性のある自主財源を今後どのように確保していくのか伺う。

A 自主財源が減少傾向にある厳しい財政状況であることは認識している。何もしないで手をこまねいては何も変わらない。そのため必要などころには投資して、チャレンジするのは今だと考えている。

公明党 加島 広宣

Q 「稼ぐ自治体」とあるが、自主財源確保のため、不要財産の売却を行い、売却益や固定資産税収入での財源確保を考えているのか。また、土地や建物の寄附を受けたり購入することは「稼ぐ自治体」とは逆行してしまうが、基準はあるのか伺う。

A 市有財産の売却や貸し付けは重要な財源確保となる。該当資産の洗い出しは常に行ってきた。政策実現のためや行政目標を達成するための寄附を受けたり購入などを考えている。

市民クラブ 水田 豊

Q 予算編成で、府中市をどのようなまちにしたいのか、「希望と笑顔があふれるまち」では抽象的すぎる。具体的なイメージを伺う。

A 誰もが幸せを実感でき、安心して子どもを産み育て、誰もが活躍でき、住み慣れた地域でいつまでも健康で暮らすことができるまち。また住み続けることで幸せを感じ、市外からも府中市に魅力を感じ移住するまち。幸せを実感することは「豊かさ」を実感することだと考える。

市民クラブ 土井 基司

Q 合併後2番目の大規模予算を提案しているが、どれぐらいの予算規模が府中市にとって適正だと考えているのか。また、昨年度途中で廃止された出産応援金(通院補助)について、今後の考え方を聞く。

A 経常経費は概ね170億円円で推移しているが、投資的経費の増減が予算規模に影響しており適正規模は言い難い。出産応援金については、少子化対策の効果は認められなかった。ネウボラの充実で働きながら安心して過ごせる子育て支援を目指していく。

日本共産党 岡田 隆行

Q 新型コロナウイルス感染症対策で、府中市独自の休業補償制度や助成制度、無利子の生活支援制度などの検討を進めてはどうか。

A このような状況においては、休業手当支払いによる企業側の負担増や、放課後児童クラブ受け入れ拡充に伴う人材確保や保護者負担増などについては十分認識している。本市としても、国の動向をしっかりと見極めながら検討していきたい。スピード感が必要な場合は、当然スピード感を持って対応していきたい。

# 委員会での審議

## 総務文教委員会

・過疎地域自立促進計画の変更について (原案可決)

**Q** 賑わいづくり事業について、ネウボラと屋内広場については過疎債を申請するということが、他の部分の改修は必要なのか。

**A** 概算の工事費ではネウボラ約2億円、屋内広場約1億円、その他の関係経費として約1億円、その他業務委託費等約5千万円を見込んでいます。行政エリアの中でネウボラ等の特定機能以外については全体を屋内広場としてイメージしている。屋内広場に附帯する工事や屋内広場の関連工事についてはその他の関係経費へ含めて計上している。現在、賑わいづくり特別委員会

会で活用策について議論を重ねており、3月末をめどに大枠の機能を決定する。今後設計を煮詰め改装にかかる概算費用を算出する。活用機能や工事内容により工事費は大きく変動することになる。年間の維持管理費は、現在の利用状況から換算すると、光熱水

費や空調など、電気代等を合わせた維持管理費は年間約2600万円となる。今後導入する機能・運営方式により額の変動も考えられる。

## 厚生委員会

・地方独立行政法人府中市病院機構第3期中期計画を認可することについて (原案可決)

**Q** 今後の医師確保の見通しを伺う。

**A** 令和2年度の春から府中市民病院に新たに1名、内科の常勤医師が着任予定となっている。また、大学病院の医局から医師の配置に加え、今後、地域枠、ふるさと枠の

県内配置が増えてくる。令和3年度からは、府中市の奨学生が順次医師になっていく予定であり、初期臨床研修2年間を終えた後の専門医研修などが未定で、配置年度がまだ確定していないが、医師確保の見通しもある。加えて、広島県地域医療支援センターの事業である「ふるさとドクターネット広島」を通じての確

保など、今後も必要な医師の確保に取り組んでいく。

**Q** 病院機構に対する財政支援について、当初の額を大幅に超え、4年間、4億円を超える財政支援を見込んだ計画となっている。支援計画の方針を転換したのか。

**A** 元利償還金が令和2年度をピークに増えている。それに対応した元利償還金の変動分と、それ以外の固定分として繰出基準を設けている。今回の繰出基準は、病院経営

に対する支援の見える化を進めたものであり、基本的な考え方についてはこれまでと変わらないものと考えている。

・府中市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について (原案可決)

**Q** 放課後児童クラブの支援員の研修は、年に何回あるのか。また、現在発生している新型コロナウイルス感染症対策について、現状を伺う。

**A** 昨年度、広島県が実施した研修は年4回程度あり、広島市や福山市、三次市などで行われた。来年度以降は、県が受講対象者数の調査を行

## 建設委員会

・府中市森林環境譲与税基金条例の制定について (原案可決)

**Q** この基金の具体的な管理、運用方法、また、森林環境譲与税の目標を達成するために、どのような事業や経費に充当するのか。

**A** 管理方法については、森林整備等の事業に要する原資を確実に保管するために、条例制定後に森林環境譲与税基金専用口座を開設し、預金により管理する。基金は森林整備等に要する経費に充当し、計画的に事業を執行していくこととしており、定期預金や有価証券にかえるなどの資金運用は考えていない。また、森林環境譲与税の使途として、間伐などの森林整備や人材育成、担い手の確保、木材の利

用促進や普及啓発などの森林整備及びその促進に関する費用に充てることが出来ることとされており、家具のメッカである府中市独自の支援策なども含め、他市町の取り組み事例や、広島県との連携を図りながら、効果的な取り組みができるよう検討してまいりたい。

・令和2年度府中市水道事業会計予算について (原案可決)

**Q** 水道広域化を見据え、40年以上経過した管路について、今後どのようにして更新していくのか。

**A** 現在は、管の布設年数のみを基準に、毎年全体管路の約1パーセントを更新していく計画で事業を進めてきたが、今年度策定する管の老朽度、耐震性、重要度、水面を総合的に評価・診断した管路更新計画を反映させることとで、限られた財源で効率的な管路更新を進めていこうと考えている。また、水道広域化が進むと、現在、府中市で老朽管の更新という位置づけのものが、広域化の中で基幹管路であるとか、耐震化という要件に当たれば、現在は国の補助はないが、国の交付金事業の対象になると見込んでおり、こちらは広島県と引き続き県内21市町で進める水道広域化の議論の中で、より有利で効率的な更新ができるようにあわせて考えたい。

い、具体的に決めていくと聞いている。また、新型コロナウイルス感染症対策としては、3月2日からの学校の臨時休業に伴い、最初の2日間は、通常の時間帯で運営したが、3月4日からは長期休業体制で運営している。利用対象者は、1年生から3年生までに限定しており、1日平均200名程度の利用がある。支援員については、通常34名体制のところ、20名の増員を行い、児童と関わりのあるポムポムの職員や特別教育支援の支援員、学校の給食の調理員等にお願いをしている。今回スペースの確保も課題となっており、通常使っている部屋に加えて、学校の特別教室等も使い、一定程度のスペースを確保している。



# 討論議案

## 議案第1号 令和2年度府中市一般会計

### 予算について

#### ・予算組み替え動議

**反対** 土井 基司

賑わいづくり事業の内、ネウボラを府中天満屋に設置することは、1年前から議会全体に異論がなかったところである。ネウボラ以外の事業を減額し、出産応援金を復活する考えは理解するが、この案ではネウボラの計画を白紙に戻すことにつながるため、動議には反対する。

**賛成** 岡田 隆行

新型コロナウイルス感染症の広がりの中、府中市も独自の対策を講じる必要がある。また、子育て世代の支援策として、出産応援金の復活や高校卒業年齢までの医療費助成の拡充が必要と考える。さらに財政調整基金も充実させる必要がある。いずれも、天満屋2階の「活用」にかける4億5623万円などの予算を組み替えることで実現できる。

**反対** 本谷 宏行

ネウボラを含む天満屋2階の改修費を見直す動議だが、提案者の一人は、ネウ

ボラ設置場所等について協議した厚生委員会において、反対されたことはない。

また、令和2年度府中市一般会計予算案は、ネウボラ設置や駅周辺の賑わいづくり事業等、若者や子育て世代を支援することによって人口流出を防ぐための予算編成であり、この予算組み替え動議には反対する。

**反対** 加島 広宣

商業施設2階へのネウボラを含めた施設整備は、費用対効果に見合わないと思うが、駅周辺へのにぎわいの創出などのさまざまな効果が期待されると考えられる。したがって予算組み替え動議に反対する。

## 議案第1号 令和2年度府中市一般会計 予算について

### ・原案

**反対** 土井 基司

病院機構への繰出基準の変更について、従来基準と総務省基準との関係の説明と、これまでの総括が不十分であること。府中公園内の「平和会館」整備工事費について、計画段階で詳細な説明がなく、整備後の活用の見通しも定かではないこと。以上2点の理由で予算案に反対する。

### 賛成

広瀬 和彦

予算については、各事業を含め委員会においてしっかり議論されたことと思う。討議の一つとなつてにぎわいづくりについては、予算に対する効果も含め、賑わいづくり特別委員会ですっかり議論をしていただくことを付し賛成の討論とする。

**反対** 岡田 隆行

府中商工会議所の調査分析によると1月から3月にかけて昨年10月の消費税増税の影響もあり、景気は「悪化」の一途をたどっている。その上「コロナ不況」が追い打ちをかける。「町なかのにぎわいづくり」などへ多額の予算を組むよりも、中小業者の営業支援、休業補償、また子どもの医療費助成など子育て世代への応援策を講じることが大事と考える。

**賛成** 加島 広宣

商業施設2階へのネウボラを含めた施設整備は、駅周辺へのにぎわいの創出として、賑わいづくり特別委員会でも事業として進めることで話し合われている。今後の整備に期待されていると考え、賛成とする。

# 議員発議

## 発議第1号

### 府中市議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例案について

疾病やその他の理由により、市議会の会議等を長期間欠席した場合に議員の月例報酬や期末手当の支給について減額の特例を定め、議員の職責と議会への住民の信頼を確保する。刑事事件の被疑者若しくは被告人として逮捕、勾留その他身体を拘束される処分を受けた場合は身柄拘束の日から処分を解かれる日までは、日割りで支給を停止する。有罪になった場合は支払わないこととする。

## 発議第2号

### 府中市議会議員定数条例及び府中市議会委員会条例の一部を改正する条例案について

議員のなり手不足を解消するうえで、議員定数の削減は議会力の低下や多様な層からの立候補を困難にするなどの意見もあったが、議会改革シンポジウムや市民アンケートなど市民からの御意見を尊重し、現在の議員定数20人から1人削減して19人とし、あわせて、厚生委員会に所属する委員を1人削減して6人とし、次回の一般選挙から適用する。

## 発議第3号

### 府中市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案について

若者や女性など多様な層からの立候補がしやすい環境を整えるため、議員本人や親族が経営に関与する企業が、市の発注工事の下請けをすることを認める。議会への監視強化の観点から、審査請求に係る連署数を市民にあっては、選挙権を有する者の総数の100分の1以上の者の要件を200分の1以上の者に緩和し、議員にあっては運用の厳格化の観点から議員定数の8分の1以上の者の要件を3分の1以上の者とする。

## 3月議会での各議員の議決結果 (賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

議案名	議員名																				
	加藤吉秀	芝内則明	福田勉	森川稔	広瀬和彦	安友正章	岡田隆行	榑崎征途	土井基司	水田豊	加納孝彦	山口康治	本谷宏行	三藤毅	加島広宣	大本千香子	田邊稔	橋高尚裕	丸山茂美	栗田澄子	
動議	令和2年度府中市一般会計予算について(予算組み替え動議) (天満屋2階の改修費等の予算を新型コロナウイルス対策や子育て支援に組み替える)	-	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
予算	令和2年度府中市一般会計予算について	-	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事件	地方独立行政法人府中市病院機構第3期中期計画を認可することについて	-	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	令和元年度府中市一般会計補正予算(第5号)について	-	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	中高年のひきこもりに対する実効性のある支援と対策を求める意見書について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	子どもの医療費助成制度の拡充を求める意見書について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(一議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥…本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

## 高校生との意見交換会

上下高等学校



府中東高等学校



府中高等学校



府中市議会は、1月8日(水)上下高等学校、2月12日(水)府中東高等学校、2月19日(水)府中高等学校の生徒と、それぞれ意見交換会や発表会視察等を実施いたしました。

これは、議会改革特別委員会での議論を受けて、「議員のなり手の掘り起こし」と「広聴機能の強化」として、高校生との意見交換会等を行うこととしたものです。

高校生と議員が意見交換を重ねることで、生徒にとって議会がより身近な存在となり、また生徒の意見を政策提言につなげることで、議会への信頼感と関心を深めてもらうことを目指していきます。

各学校の校長先生をはじめ、関係者にはご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

**編集後記**

新型コロナウイルスの感染拡大により、行事やイベントなど、中止や延期を余儀なくされています。感染拡大を防ぐには、一人一人の行動がとても重要となっています。手洗いや咳エチケットを心掛け、感染リスクが高いと言われている3密「密閉空間」「密集場所」「密接場面」を避け、不要不急の外出を自粛しましょう。

府中市では、4月15日に議員全員協議会を開き、理事者と議会が連携を密にして、この危機を乗り越えていくことを確認しました。(加島)

議会よりへのご意見・ご感想お待ちしています。  
TEL(0847)4317171  
FAX(0847)4513212

## 議会の動き(1~3月)

- 1月6日 広報広聴特別委員会(編集作業等)
- 1月14日 広報広聴特別委員会(編集作業等)
- 1月15日 議会運営委員会(所管事務調査)
- 1月16日 賑わいづくり特別委員会(付議事件の調査)
- 1月20日 広報広聴特別委員会(編集作業等)
- 1月20日 議会改革特別委員会(第27回)(報告書まとめ)
- 1月27日 総務文教委員会(所管事務調査)
- 1月30日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 2月7日 広報広聴特別委員会(議会改革推進事項について)
- 2月10日 賑わいづくり特別委員会(付議事件の調査)
- 2月10日 議会運営委員会(所管事務調査)
- 2月12日 議会改革特別委員会全体会(答申及び議会改革の取り組み状況について)
- 2月12日 議会改革特別委員会(第28回)(答申について)
- 2月12日 議会運営委員会(答申について)
- 2月17日 賑わいづくり特別委員会(付議事件の調査)
- 2月19日 建設委員会(観光協会との意見交換会)
- 2月20日 厚生委員会(所管事務調査)
- 2月21日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 2月28日~3月18日 3月定例会
- 3月6日 議会運営委員会(新型コロナウイルス感染症対応協議)
- 3月11日 議会運営委員会(新型コロナウイルス感染症対応協議)
- 3月11日 広報広聴特別委員会(報告書まとめ)
- 3月12日 総務文教委員会(議案の審査)
- 3月13日 厚生委員会(議案の審査)
- 3月16日 建設委員会(議案の審査)
- 3月18日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 3月21日 広報広聴特別委員会(編集作業等)
- 3月24日 議会運営委員会(新型コロナウイルス感染症対応協議)
- 3月27日 広報広聴特別委員会(編集作業等)
- 3月30日 賑わいづくり特別委員会(付議事件の調査)

## 視察の受け入れ

- 1月14日 岡山県赤磐市(子育て施策について)
- 1月16日 徳島県小松島市(小学校再編について)
- 1月29日 熊本県菊池市(議会改革特別委員会の取り組みについて、議会改革シンポジウムについて)
- 2月7日 滋賀県彦根市(議会による事務事業評価について)
- 2月10日 山口県萩市(市立病院と民間病院の経営統合について)